

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月22日(水)

事務事業		高齢者福祉政策推進事業		担当課	長寿福祉課	担当係	長寿福祉係	管理番号	3338	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	3	地域で支え合って生活できるまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市高齢者保健福祉委員会設置条例 深谷市高齢者福祉計画 深谷市外国人高齢者福祉手当支給要綱				
	小項目	2	高齢者福祉の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		高齢者福祉サービスの利用を促進するため、リーフレットを作成し、全戸配布することにより、各サービスに関する情報を広く市民の方へ提供するものである。また、高齢者保健福祉委員会を開催し、高齢者福祉計画の策定・進行管理を行うものである。								
目的 ※何のために		高齢者福祉に対する理解の向上を図り、各サービスの利用を促進する。								
対象 ※誰・何を対象に		市民の方。								
手段 ※どのように		リーフレットを作成し、全戸配布する。								
成果 ※何を求めるか		高齢者福祉サービスに関する情報を提供する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	3	民生費	4	老人福祉費	1	老人福祉総務費	老人福祉政策推進事務費	1,177,840
本事業の 主な業務		・ 高齢者福祉計画の進行管理							・	
		・ リーフレットの作成、配布							・	
		・ 外国人高齢者福祉手当対象者の把握・交付							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		高齢者福祉計画の策定	高齢者福祉計画の進行管理	高齢者福祉計画の進行管理	高齢者福祉計画の策定	高齢者福祉計画の進行管理	高齢者福祉計画の進行管理
事業費	予算（現額）	6,881,000	1,178,000	1,283,000	7,833,000	1,289,000	230,704,000
	決算額	6,401,940	1,146,673	1,165,552	7,301,340	1,177,840	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	223,046,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	6,401,940	1,146,673	1,165,552	7,301,340	1,177,840	7,658,000
人件費	従事職員数（人）	1.01	1.01	0.86	1.00	0.80	0.70
	人件費相当試算※	7,856,790	7,859,820	6,760,460	8,136,000	6,209,532	5,691,944
総事業費試算		14,258,730	9,006,493	7,926,012	15,437,340	7,387,372	236,395,944

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	リーフレット配布世帯数	目標値	世帯	48000	48000	48000	48000	48000	48000	
		実績値		48000	48000	48000	48000	48000	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成24年度より、各年度の市広報配布世帯数を目標値として設定する。 / 広報折込数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	高齢者福祉委員会開催回数	目標値	回	0	1	1	4	1	1	
		実績値		4	1	1	4	1	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	リーフレットをより分かりやすい表現や表記に修正し、広報ふかや7月号に折り込み、全戸配布することで市民に対し各種事業の情報を提供することができた。今後も市民に分かりやすく情報を提供し、かつ地域包括支援センター、社会福祉協議会、介護保険サービス事業者等と連携し事業の推進を図っている。また、高齢者保健福祉委員会を1回開催し計画の進捗管理を実施した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	配布方法を広報ふかや7月号に折り込むことで、効率的に全戸配布できた。また、高齢者の相談窓口として各地区の地域包括支援センターからも配布し、必要な情報を迅速に提供できた。
			評価者 長寿福祉係長 山村恵美子

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	リーフレットをより分かりやすい表現や表記に修正し、広報ふかや7月号に折り込むことで、市内の多くの世帯に配布でき、各種事業の情報を提供することができた。 また、地域包括支援センター6事業所、社会福祉協議会、介護保険サービス事業者等と連携し各事業の周知及び推進を図っている。 なお、高齢者保健福祉委員会の1回の開催は、書面開催とし計画の進捗管理を実施した。
			評価者 長寿福祉係長 山村恵美子

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	高齢者福祉政策推進事業	担当課	長寿福祉課	担当係	長寿福祉係	管理番号	3338
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		リーフレットをより分かりやすい表現や表記に修正し、今年度も全戸配布することで市民に対し各種事業の情報を提供することができた。今後も市民に分かりやすく情報を提供し、かつ地域包括支援センター、社会福祉協議会、介護保険サービス事業者等と連携し事業の推進を図る。また、高齢者保健福祉委員会を1回開催し、計画の進行管理を行った。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 長寿福祉課長 笠原正					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

